

## 経営理念

コニシ株式会社は「堅実且つ積極的な経営」と「品質第一」を信条として  
絶えず新しい価値の創造をめざし社会の発展に貢献する。

## 行動憲章

### 1. 信頼の獲得

社会的に有用な製商品・サービスを、安全性と品質に充分配慮して開発・提供するとともに個人情報・顧客情報を適正に保護し、消費者・顧客の満足と信頼を獲得する。

### 2. 公正な競争

公正、透明、自由な競争並びに適正な取引を行い、政治・行政との健全かつ正常な関係を保つ。また、自社の知的財産の保護と第三者の知的財産の尊重に努める。

### 3. コミュニケーション

株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示する。

### 4. 職場環境

従業員の多様性、人格、個性を尊重し、安全と健康のため、快適な職場環境を実現する。

### 5. 環境保全

環境問題は人類共通の課題であり、社会の発展に必須の要件であることを認識し、自主的・積極的に取り組む。

### 6. 社会貢献

「良き企業市民」として、積極的に社会貢献のため活動する。

### 7. 反社会的勢力との対決

市民社会の秩序や安全に脅威をあたえる反社会的勢力および団体とは断固として対決する。

### 8. 海外活動

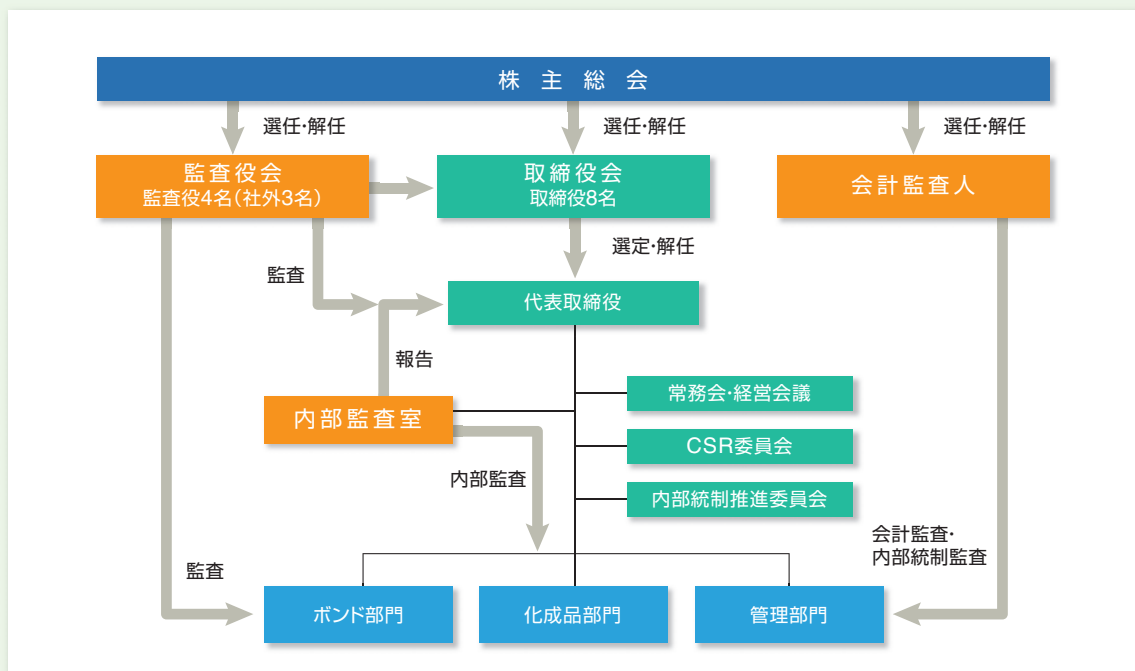
海外においては、国際ルールや現地の法令の遵守はもとより、文化や慣習も尊重し、その発展に貢献する。

### 9. 企業倫理の徹底

経営者は、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識し、率先垂範の上、社内やグループ企業に徹底するとともに、取引先に周知させる。また、社内外の声を常時把握し、実効ある社内体制の整備を行うとともに、企業倫理の徹底を図る。

### 10. 問題の解決

本憲章に反するような事態が発生した時には、経営トップ自らが問題解決にあたる姿勢を内外に明らかにし、原因究明と再発防止に努める。また、社会への迅速かつ的確な情報の公開と説明責任を遂行し、権限と責任を明確にした上、自らを含めて厳正に処分する。



## 経営統治システム

### 迅速な意思決定と監視・監督体制を強化しています

取締役の人数は8名であり、社外取締役は選任されていません。取締役会は毎月1回、必要に応じ常務会を開催しています。また代表取締役、役付取締役で構成された経営会議を毎月開催し、経営の意思決定の迅速化、透明性および公平性の確保を行っています。また執行役員を6名任命しており、必要に応じて取締役会に出席させ、業務の執行状況を報告させています。

監査役の人数は4名であり、全員取締役会に出席し、会社の運営および各取締役または各執行役員から業務の執行状況を聞き、必要に応じて意見を述べるなど監視・監督を行っています。また、監査役会は定期的に内部監査室および会計監査人から報告を求めるなど、監査体制を強化しています。なお、監査役のうち社外監査役は3名であり、より第三者的な立場から監査機能を発揮していると考えています。

## 内部統制

### コンプライアンスの基本となる内部統制システムを構築しています

「CSR委員会」を中心として「リスク管理委員会」「安全保障貿易管理委員会」「環境委員会」「製品安全委員会」等を全社横断的に組織させ、それぞれの機能別にリスクマネジメント、コンプライアンスおよび倫理性、透明性をチェックしています。

また「内部統制推進委員会」において、内部統制制度の整備、評価、推進等を行っています。

## コンプライアンス

### 法令遵守、公正性、倫理に基づいた行動で、企業価値の向上と継続的な発展をめざしています

#### 「行動憲章」「行動規範」「行動規範ガイドブック」

コンプライアンスの充実のため、当社グループで働くすべての人が守らなければならないルールを「行動憲章」「行動規範」としてまとめました。さらに「行動規範」の理解を深めるため、解説書形式で「行動規範ガイドブック」を作成して、それらを当社グループのすべての人に配布し周知徹底を行っています。



行動規範

行動規範ガイドブック